

平成26年度 稲築西小学校評価

【学校教育目標】
夢の実現に向け、友だちと共に、元気に学ぶ児童の育成

【本年度の重点目標】
 ー学校経営ー
 ・ 協働体制の確立(評価90P以上)
 ・ 校内研修の充実(授業研全担任実施)
 ・ 学校環境の整備(評価95P以上)
 ー教育指導ー
 ・ あいさつのできる子どもの育成(評価70P以上)
 ・ 基礎学力の向上(NRT学力検査1Pアップ)
 ・ 称賛活動の推進(評価90P以上)

領域	項目	評価指標	自己評価	自己評価を踏まえた改善策	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策
組織運営	校内組織運営の充実	学校の教育目標や教育方針が明確に示されているか。 ＜結果＞教員のAB評価79%(−12) 本年度の重点の中で、称賛活動など新たに設けられたものについて、日々の具体化や評価の有り方が明確でなかったことが、数値に反映されていると考える。	3	・ 内容について具体を示し、十分な共通理解のもと取組を推進するとともに、手ごたえを実感できる評価の在り方を検討する。	・ 称賛活動の効果は出ているように感じています。これからもしっかりと取り組んでいただくようお願いします。	・ 内容について具体を示し、十分な共通理解のもと取組を推進するとともに、手ごたえを実感できる評価の在り方を検討する。
		校務分掌組織が連携し、協働体制で取組を行っているか。 ＜結果＞教員のAB評価68%(−15) 各分掌部会内での連携並びに協働体制の有様を問うものであるが、分掌部会間のものであり、実働を確認できていないことが数値に反映されていると考える。各分掌部会の活動の活性化は認められるが、各種委員会の定例化が十分になされず、分掌部会の取組に連動した印象が薄いことが、数値に表れていると考える。	3	・ 各分掌組織が円滑に実働し、より一層の機能化が図れるよう、連携と協働体制の確立に向けた働きかけをミドルリーダーに行うとともに、評価指標の検討を行う。 ・ 各種委員会については、必要に応じて開催する方向で修正を行う。	・ 先生方が複数の業務に携わっておられるため大変だと思いますが、目的と改善点を明確にして取組を強化してください。	・ 各分掌組織が円滑に実働し、より一層の機能化が図れるよう、連携と協働体制の確立に向けた働きかけをミドルリーダーに行うとともに、評価指標の検討を行う。 ・ 各種委員会については、目的や機能を再確認するとともに、定例化できるものとそうでないものすみわけを行い、場合によっては、必要に応じて開催する方向での検討を行う。
		学習環境整備に努めているか。 ＜結果＞教員AB評価86%(+2) 施設・設備を細やかに点検・整備するとともに、担任のニーズに応じた学習環境整備(掲示スペースの増設等)を進めることができた。	4	・ 子ども達が快適に学べるよう、また、学習の成果を子どもたち自身が実感できるよう、より一層の学習環境整備に努める。	・ 努力されていると思うので、このまま継続してください。	・ 子ども達が快適に学べるよう、また、学習の成果を子どもたち自身が実感できるよう、より一層の学習環境整備に努める。
		子ども達は、学校を楽しく感じて登校してきているか。 ＜結果＞児童AB評価89%(+5) 問題行動等も減少傾向にあり、落ち着いて学習したり、友達との時間をトラブルなく過ごしたりする力が付いてきている子ども達が徐々に増えていることが伺える。	3	・ 生徒指導の視点を取り入れた授業の創造に努め、学びを通して子ども達が人間関係を築けるようにするとともに、子ども達の居場所づくりに向けて称賛活動を推進する。	・ 実際に子ども達と会話すると、大部分の子ども達が学校へ行くことを楽しみにしています。	・ 生徒指導の視点を取り入れた授業の創造に努め、学びを通して子ども達が人間関係を築けるようにするとともに、子ども達の居場所づくりに向けて称賛活動を推進する。
教育課程・学習指導	確かな学力	勉強を楽しいと感じながら、取り組んでいるか。 ＜結果＞児童AB評価78%(+4) じっくり学習に取り組める、落ち着いた雰囲気に戻ってきたことと、子ども達が楽しいと思える授業づくりが進んでいることが考えられる。	3	・ 子どもたちが達成感や充実感を感じることができるよう、学習成果の蓄積を図るとともに、日々の授業の改善にむけて、一般研修の充実を図る。	・ 先生方の努力が見えるようです。このまま継続してください。	・ 子どもたちが達成感や充実感を感じることができるよう、学習成果の蓄積を図るとともに、日々の授業の改善にむけて、一般研修の充実を図る。
		基礎学力の定着ができてきているか。 ＜結果＞NRT学力検査46.7ポイント(±0) 数値的には、現状維持にとどまっている。実施を見通した手立ての構築が望まれる。	2	・ 学力向上コーディネータのリーダーシップのもと 授業改善はもとより、反復学習等、日々の取組について確かな共通理解と共通実践の徹底を図る。	・ 結果が出ていないことを十分に受け止める必要があります。他地区の取組や成果を出している学校の取組を研究してみる価値があるのではないのでしょうか。 ・ 学校だけでなく保護者の協力が必要だと思います。	・ 学力向上コーディネータのリーダーシップのもと 授業改善はもとより、反復学習等、日々の取組について、家庭との連携を図りながら、確かな共通理解と共通実践の徹底を図る。
		思考力・判断力・表現力の育成ができてきているか。 ＜結果＞ 教員のAB評価79%(+2) 個々の教員は意識を持ち取組はあるものの、組織的な展開になっていないため、数値的には大きな変化には至っていない。	3	・ 「問いづくり、思考づくり、価値づくり」のある授業をめざし、校内研修の充実・深化を図りながら、組織的に授業改善を図っていく。	・ 校内研修を充実させるとともに、組織的な取組を徹底してください。	・ 「問いづくり、思考づくり、価値づくり」のある授業をめざし、校内研修の充実・深化を図りながら、組織的に授業改善を図っていく。
		家庭学習に取り組んでいるか。(学年×10) ＜結果＞児童AB評価77%(+7)・実施率78%(+7) ”新”家庭教育宣言の取組と関連付けながら、学習習慣の確立に向けて意識を高める取組を進めてきたことが数値の伸びにつながっていると考えられる。	3	・ 家庭との連携を図りながら、嘉麻市の「家庭学習のすすめ」を有効活用し、学習習慣の定着に繋ぐ。	・ 学校・塾だけでなく地域のいろいろな取組も活用すると良いと思います。	・ 家庭との連携を図りながら、嘉麻市の「家庭学習のすすめ」を有効活用し、学習習慣の定着に繋ぐ。
		一週間に一冊以上の本を読んでいるか。(図書利用指導に取り組んでいるか。) ＜結果＞児童AB評価73%(+1) 数値的に大きな変化はなく、効果的な取組は認められない。学級格差が幾分見られるため解消策が必要と考えられる。	3	・ 授業と関連付けたり、家庭学習に位置づけたりするとともに、図書委員会の活動の充実を図り、読書活動への興味や関心を高める取組を展開する。	・ 先生達の努力が見えるようです。地道な努力が実を結んでいると思います。	・ 授業と関連付けたり、家庭学習に位置づけたりするとともに、図書委員会の活動の充実を図り、読書活動への興味や関心を高める取組を展開する。

心の教育・たくましい体力	気もちのよい言葉遣いに気をつけているか。	3	・ 道徳教育の充実を図るとともに、児童会によるほわほわ言葉とチクチク言葉の取組を推進し、相手を思いやる気持ちの醸成と意識の継続を図る。	・ 子ども達が落ち着いているように見えます。言葉づかいも落ち着いているようです。	・ 道徳教育の充実を図るとともに、児童会によるほわほわ言葉とチクチク言葉の取組を推進し、相手を思いやる気持ちの醸成と意識の継続を図る。	
	<結果>児童AB評価77%(+15) 落ち着いた雰囲気の中で相手の気持ちを意識した言動を取れる子ども達が増えていると考えられる。					
	元気よくあいさつできているか。	3	・ 教員の率先垂範行動は言うまでもなく、本年度の児童会の取組は次年度も継続する。また、校内掲示等の工夫など、意識の継続に向けての取組行う。	・ 学校へうかがったとき、子ども達の方から進んで挨拶ができています。先生方の努力の結果だと思います。	・ 教員の率先垂範行動は言うまでもなく、本年度の児童会の取組は次年度も継続する。また、校内掲示等の工夫など、意識の継続に向けての取組行う。	
	<結果>児童AB評価81%(+5) 校務分掌への位置づけと児童会による取組が数値の伸びに繋がっていると考えられる。強化週間を過ぎると教員も子ども達も意識が下がる傾向が認められる。					
道徳の時間の授業の充実に努めているか。(発問・教材・教具の工夫と活用)	3	・ 副読本や関係資料の有効活用を図りながら、発問・教材・教具を工夫した道徳の時間を設定し、じっくり考えさせたり、自分と向き合わせたりする授業の創造に努める。	・ 道徳は子ども達が社会に出て最も役立つものであるため、今以上に努力してください。	・ 副読本や関係資料の有効活用を図りながら、発問・教材・教具を工夫した道徳の時間を設定し、じっくり考えさせたり、自分と向き合わせたりする授業の創造に努める。		
<結果>教員AB評価75%(+14) 数値的には、まだまだ努力要する段階である、意識を持って取り組んだことが14ポイントの伸びに繋がっていると考えられる。						
新体力テストの結果を生かした授業づくりをしているか。	1	・ パワーアップファイブの取組からコーディネーショントレーニングへ具体策を修正し、系のリーダーシップのもと組織的な取組の徹底を図る。また、新たな取組につき、職員研修を設定し指導力を均一化し、温度差の解消を図る。	・ 困難はあると思いますが、改善に向けての努力をしてください。	・ パワーアップファイブの取組からコーディネーショントレーニングへ具体策を修正し、系のリーダーシップのもと組織的な取組の徹底を図る。また、新たな取組につき、職員研修を設定し指導力を均一化し、温度差の解消を図る。		
<結果>教員AB評価36%(−5) 児童の体力実態は共有できているが、課題克服に向けての意識が低く、共通実践が徹底されていないことが伺える。						
生徒指導・人権・同和教育	よりよい人間関係	3	・ 「いいとこ見つけ」の実施等、子ども達が互いのよさを認め合い、支持的風土に満ちた学級づくりに向けての取組を工夫していく。	・ 取組の実際は見えにくいのですが、子ども達が意識を持って過ごしていることがうかがえます。	・ 「いいとこ見つけ」の実施等、子ども達が互いのよさを認め合い、支持的風土に満ちた学級づくりに向けての取組を工夫していく。	
			子ども達の話に耳を傾けるようにしているか。	4	・ 教師の基本姿勢として来年度も意識を絶やさず、継続を貫く。	・ 先生方と会話をしている子ども達をよく見かけます。教師にとっては一番大事な事なので今後も頑張ってください。
	生徒指導の徹底	学校のきまりや約束を守る子どもを育てているか。	3		・ 教師からの働き掛けばかりでなく、児童会の活動等と連動させ、子ども達自らが声を掛け合い、正しい自己選択を行うことができるような取組を創造していく。	・ 姿として見えにくいことなので、学校での取組を信頼し、今後は期待します。
		<結果>教員AB評価71%・児童AB評価71%(+13) 落ち着いた雰囲気の中で、廊下歩行をはじめ、小さなきまりを確実に守るようにさせる働きかけが数値にも表れ始めている。				
		いじめや不登校児の対策をたてて予防に努めているか。	4	・ 小さなことにも手をこまねくことなく、気になる内容や情報については、必ず聞き取りを行い、保護者との情報共有にも努めることを継続していく。	・ 先生方の努力がうかがえます。より一層頑張ってください。	・ 小さなことにも手をこまねくことなく、気になる内容や情報については、必ず聞き取りを行い、保護者との情報共有にも努めることを継続していく。
		<結果>教員AB評価93%(+9) 毎月チェック日を設定し、子ども達一人ひとりの様子や学級の友人関係等についても目を配り、予防や未然防止に努めることができていると考えられる。				
保健・安全管理	学校づくり 安全・安心な	3	・ 学校の約束やきまりを守りながら、落ち着いた学校生活を維持させることで、健康安全の保持に繋がるとともに病気の流行等への対応の方法を定着させるようにする。	・ 保護者との細やかな情報交換が取組を一層向上させるとしています。	・ 家庭との細やかな情報交換を行う等、連携・協力し、学校の約束やきまりを守りながら、落ち着いた学校生活を維持させることで、健康安全の保持に繋がるとともに病気の流行等への対応の方法を定着させるようにする。	
			<結果>教員AB評価89%(−2) 粗野な行動からけがに至る子どもの数は、減少傾向にあり、日常の指導に手ごたえを感じていることが数値から読み取れる。			
研修	教職員の資質向上	主題研修が計画的に進んでいるか。	4	・ これまでの研修の成果を生かしながら、本校の教育課題の克服に向けた適切な主題設定を行い、研修の充実を図る。	・ 先生方の努力の結果だと思いますので、今後も頑張ってください。	・ これまでの研修の成果を生かしながら、本校の教育課題の克服に向けた適切な主題設定を行い、研修の充実を図る。
		<結果>教員AB評価93%(−1) 数値的には大きな変化はないが、主題研修が毎年質的にも量的にもコンスタントに実施されていることが伺える。				
		指導力を高めるために自ら研修の機会を求めているか。	3	・ 県教委主催の専門研修や実践的指導力の向上につながる研究発表会等について、積極的な参加を奨励していく。	・ 先生方の意識に関わる場所だと思いますので、頑張ってください。	・ 県教委主催の専門研修や実践的指導力の向上につながる研究発表会等について、積極的な参加を奨励していく。
<結果>教員AB評価79%(−8) 研究発表会に向け、主題研修へのウエイトが高まったため、主体的な研修に対して時間をさけていないことが数値に反映されていると考えられる。						
地域・保護者等との連携	学校開かれた 学校づくり	4	・ 地域行事やPTAの活動への積極的な参加を心がけ、意思の疎通が円滑に図れる関係づくりを今後も継続していく。	・ 今まで以上に地域の方々を活用してください。	・ 地域行事やPTAの活動への積極的な参加を心がけ、意思の疎通が円滑に図れる関係づくりを今後も継続していく。	
			<結果>教員AB評価100%(+19) 子ども達の課題克服やトラブルの解消に向けては、細やかに家庭訪問を行い、迅速に保護者と連携を図る姿が定着している。			